

- * 「こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。」(コロサイ3:1~2) 上にあるもの、天にあるものとはキリストのことである。キリストは十字架に死んで復活し、天に昇り、神として世界を治めておられる。だから、いつもキリストを思い、キリスト求めて歩みなさい、「キリストファースト」で生きなさい、という。
- * 「地上のものを思う」生き方は「この世ファースト」つまりは「自分ファースト」である。この世は様々の汚れや罪や奥がはびこり、争いが絶えない、恐ろしい犯罪が次々と起こるそのような世である。反してキリストの世界は全く聖い世界である。これを求め続けるようにと聖書は教えるが、この世のことを一切忘れてもよいということではない。むしろクリスチャンは「地の塩」「世の光」としてこの世に遣わされている。イエス・キリストの素晴らしさを伝え、この世の悪や不正や平和を乱すものに立ち向かっていくことが求められる。
- * 「あなたがたはすでに死んでおり、あなたがたのいのちは、キリストとともに、神のうちに隠されてあるからです。」(コロサイ3:3) 私たちの人生で、どんなに素晴らしい出来事があっても、最大の変化は、イエス・キリストを知り、救われることである。人生はその時から一変する。信仰者の生まれ変わった新しいいのちは外からは見えないが、神の内に包まれて保たれているということである。
- * 「私たちのいのちであるキリストが現れると、そのときあなたがたも、キリストとともに、栄光のうちに現れます。」(コロサイ3:4) 地上では争い、患い、憂い、不安、憤りなどが絶えないが、クリスチャンの死の彼方にはそのようなものは一切ない。古河教会の先輩たちも「天にあるものを思い、求める」キリストファーストの歩みを続けられた。私たちも彼らに学びたい。また、多くの人がキリストを信じ、そのような人生を送れるようにと願う。